



しだれ桜を背にフラダンスを披露

満開の花の下で

公津しだれ桜ふれあいまつり

公津公民館で活動するサークルの発表を桜とともに楽しんでもらおうと「公津しだれ桜ふれあいまつり」が3月29日・30日の2日間にわたり開催されました。25日に一輪開花したばかりのしだれ桜が、29日にはほぼ満開に。美しく咲き誇る前で、フラダンスや太極拳などのサークルが日ごろの成果を披露すると、発表が終わるたびに観客席からは温かい拍手が送られました。



陶芸作品の展示販売も



ゴール下での激しい攻防

迫力満点のプレーが次々と

NBL交流戦

ナショナルバスケットボールリーグ(NBL)の交流戦「千葉ジェッツ対アイシンシーホース三河」が、3月15日・16日に市体育館で開催されました。試合は迫力あるプレーの連続で、会場に詰め掛けた観客からは、しきりに歓声が上がりました。ハーフタイムには、成田北高校と成田国際高校の少林寺拳法部による演武も披露され、会場をさらに盛り上げました。

一足早く開花

さくらまつり

東金山橋上流500メートルほどの場所にある「成田さくらの里」で3月13日～22日、「さくらまつり」が開催されました。成田さくらの里には、早咲きで開花期間が長いことで知られる河津桜200本のほか、啓翁桜^{けいおう}100本が植えられています。期間中は、まきで沸かした茶の提供や里山観察会などが行われ、多くの人でにぎわいました。



里山の草花を解説



熱弁を振るう講師の久慈省平さん

情報を正しく判断するために

生涯大学院公開講座

テレビ朝日報道局ニュースセンターの災害報道担当部長である久慈省平さんを講師に迎え、「生涯大学院公開講座」が3月14日、市役所で開催されました。久慈さんは「報道番組ができるまで～命を守る!災害情報の正しい受け止め方～」をテーマに、災害報道の最前線で活躍する自身の経験なども交えながら、災害が発生した場合の情報の受け止め方・取るべき行動などについて解説。177人の参加者は、時折メモを取ったり、うなずいたりしながら耳を傾けていました。

白い卵が鮮やかに

エッグ・アートをして遊ぼう

春の到来を祝うイースターの風習である卵の殻の飾り付けを楽しんでもらおうと、「エッグ・アートをして遊ぼう」が3月29日、子ども館で行われました。子どもたちは卵の殻に色を付けた後、ペンで絵を描いたりシールやスパンコールを貼り付けたりして卵を飾り付けました。参加した子どもは「お気に入りのシールを貼ってかわいくできた」とうれしそうに話していました。



スパンコールで飾り付け



シールで装飾された卵



新酒ができたことを知らせる「杉玉」もチェックポイントの問題に

古い町並みを歩いて

わくわくウォークラリー

成田わくわくひろばに参加している地区の児童と保護者を対象に「わくわくウォークラリー」が3月16日、房総のむら(栄町)で行われました。27チーム101人の参加者は武家屋敷や商家の町並み、復元された竪穴住居など9つのチェックポイントで、昔の生活様式を観察しながらクイズや指令をクリア。家族や仲間との絆を深める1日となりました。



竪穴住居を観察